

# 地方への移住のススメ!

～よりよいワークライフバランスのために～

シドニー事務所

## 1. 地方都市が田舎生活の良さをPR

シドニーなどの都市住民に対して、地方への移住を進めている Evocities の活動が、現地の新聞に掲載されていた。日本でも多くの自治体が限られた予算の中で、住居や子育てなどの生活費を助成することで移住当初の経済的負担を軽減させるなどの取組を行っているが、オーストラリアではどのような手段を使っているのだろうと思い、調べてみることにした。



図1 2015. 4. 28 付け Sydney Morning Herald

## 2 Evocities とは

Evocities とは、Energy, Vision, Opportunity の頭文字と Cities を結びつけた造語であり、2010年9月にシドニーが位置するNSW州の内陸部にある7つの中心的カウンスル(日本の市町村にあたる)が、シドニーなどの都市住民に対して、それぞれの地域への移住を勧めるウェブサイトの運用を共同で始めたものである。運営資金は、連邦政府、州政府、銀行、大学、エネルギー会社、航空会社などからさまざま。



図2 Evocities website top page

まず、ウェブサイトに入ってみると、Evocities の趣旨と目的が紹介されており、訪問者は、紹介されている7つのカウンスルの中で、職、住宅、教育、ライフスタイルなどの内容を見た上で、希望に沿ったところを探し、相談したい事項とともにウェブ上で登録を行う。するとカウンセルごとのコンサルタントから連絡があり、今後の移住に向けたオーダーメイドな相談がスタートする仕組みだ。

## 3 Evocities の特徴は

このウェブサイトで特徴的と思ったのは、ライフスタイルについての記載が豊富な点である。地方への移住を考えている都市住民は、移住先のライフスタイルをイメージしながら移住先を探しており、そのイメージと合致したところに移住する。よって、移住を呼び込もうとする自治体には、そこでのライフスタイルをどう具体化して、視覚的に分かりやすく伝えていくかということが重要とされている。例えば、シドニーの北西約400キロに位置する人口4万2千人の街であるDubboでは、前に移住した人々へのインタビューを交えながら、

動画を通じて教育機関、病院、カフェやスーパーマーケットなど生活に必要な施設が整っている上、住宅価格も手頃なことから、子育てをする若い家族には最適なところであるとアピールしている。さらに、このサイトでは、生活コストを下げるという経済的なメリットだけではなく、豊かな自然の中で家族や地域住民と一緒に生活することによって、それぞれの人の心を笑顔でいっぱいにする「City of smiles」を目指しているということが印象に残る。このように、それぞれの街の特徴と全体像を紹介しながら移住希望者の関心を引きつけようとする戦略がとられている。

#### 4. Evocities の効果は

シドニー住民の約57%が、ライフスタイル、住宅価格、生活や交通コストが要因で移住を考えているという状況の中、実際に Evocities へ移住した80%の人が移住前もしくは移住後3ヶ月以内に仕事を見つけ、さらに職場への通勤時間も毎日平均20分削減できたという調査結果が紹介されている。このことはワークライフバランスを重視するオーストラリアでは大いに関心の持たれることである。さらに、移住先は、求職の数の多さではなく、ライフスタイルを向上させるための仕事は何かという観点で探している人が多いようだ。



図3 capital city と evocities の比較

#### 5. 最後に

これまでオーストラリア国内における移住は、「SEA change（海岸沿への移住）」が一般的だが、この Evocities は、内陸部への移住を「CITY change（都市の移住）」という新たなコンセプトとして位置づけている。また、移住希望者が重視するライフスタイル、職、住宅、教育などを複数のカウンシルの中から、一斉にウェブサイト上で検索でき、さらにコンサルタントに相談しやすい仕組みが構築されていることは、移住希望者の視線に立った取組といえる。

日本においても、多くの自治体が移住の取組をしているところであるが、この Evocities の事例を少しでも参考としていただけたら幸いである。

#### [参考]

Evocities website <http://www.evocities.com.au/en/>

(小池所長補佐 総務省派遣)